

札幌社保協 FAXニュース

2016年 11月7日(月)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
11月24日(木)です

社会保障改悪に反対する学習と運動を! 市議会では「介護」「後期高齢者」の意見書採択

国は2017~18年かけて医療と介護の負担増と給付削減を狙っており、様々な改悪案が社会保障審議会の中で提示されています。

しかし介護分野では、全国的な反対の世論と自治体決議が200以上の自治体で挙げられたこともあり、要介護1・2の生活援助や福祉用具レンタルの保険はずし等を見送ると厚労省が表明しています。

10/31の札幌市議会では介護に笑顔を！道連絡会と札幌社保協が要請（9/15右上写真）していた内容で、「後期高齢者医療制度における保険料軽減の特例措置の継続を求める意見書」と、「次期介護保険制度改革における福祉用具貸与及び住宅改修の見直し、並びに介護職員の処遇改善を求める意見書」が採択されています。

また、介護や社会保障の改悪はどうなるのか？という不安と疑問が多い中、新婦人や障がい者団体、勤医協歯科などで、この間学習会が開かれています。特に介護改悪への不安と怒りが強く、10/30の障道協の学習会（写真右下）は、道新でも紹介してもらい、23人が参加しました。



年金少なく医療費払えない

豊平・白石で SOS相談会



豊平相談会（写真左上）

10/22とよひらSOS相談会が、月寒ファミリークリニック2階で行われ、10人の相談者が訪れました。弁護士・司法書士をはじめとした6の相談コーナーを設け、医療や介護、法律や不動産の相談などがありました。22人が相談員やスタッフで協力しました。

70代の女性は6万円ほどの年金で、子どもの家賃援助で夫と暮らしていますが、脳疾患の夫の医療費を払えず、4月から医療を中断していました。勤医協の無料低額診療を利用することになり、来院の予約もして帰りました。

白石相談会（写真左下）

11/6しろいしSOS相談会は菊水ビルで行われ、13件の相談がありました。8の相談コーナーを設け、血圧測定、口腔チェックも行い、炊き出しもありました。相談員・スタッフ23人が協力。70代の女性、年金が9万円ほどで病院に通院しているが、払えないと相談。勤医協の無料低額診療を説明し、後日来院してもらうことになりました。

